※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　数学科

科目	数学Ⅰ	単位数	3
使用教科書	改訂版　新　高校の数学Ⅰ（数研出版）		
副教材等	新　数学Ⅰ　学習書（NHK 出版）		

	前期	後期
単位	2	1
レポート	6通	3通
必要出席回数	2回	1回
テスト	○	○

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- レポート
  →教科書の例やレポート記載の QR コードを読み取り、動画視聴を行い作成しましょう。
- スクーリング
  →スクーリング出席日までにレポートを取り組みましょう。
  →わからない問題は質問しましょう。
- テスト
  →レポート、教科書を中心に出題されます。

2　学習の到達目標

数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。
⑴ 数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析についての基本 的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化 したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能 を身に付けるようにする。
⑵命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図 形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着 目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関 連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について， データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択 して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に 考察し判断したりする力を養う。
⑶ 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え 数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理･法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現･処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

- 学習指導要領(第１章第２款の５)に則り、ラジオ･テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
前期	数と式／集合と命題／2次関数	基本の計算 単項式と多項式 多項式の加法減法乗法 展開と因数分解 実数 平方根 1次方程式 1次不等式 集合 命題と集合 関数 1次関数グラフ 2次関数のグラフ 2次関数の最大値･最小値 グラフと2次方程式	a:数と式，集合と命題，および2次関数の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 b:数と式，集合と命題，および2次関数を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返って多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。 c:数と式，集合と命題，および2次関数に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	スクーリング 定期考査	スクーリング 定期考査	レポート スクーリング
後期	図形と計量／データ分析	直角三角形 三角比 三角比の利用 三角比の相互関係 データの整理 データの代表値 データの散らばり	a:図形と計量，データ分析の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 b:図形と計量，データ分析を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。 c:図形と計量，データ分析に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	スクーリング 定期考査	スクーリング 定期考査	レポート スクーリング

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度